

ミラクファント® KC-2000

アクリルカチオン系

特 長

ミラクファントKC-2000は、特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンを採用した製品で、下地調整と仲介接着の役割を兼ね備え、さらに中性化防止をも加味した万能の性能を有しています。今まで不向きとされていた旧塗膜の残った壁面の改装、コンクリート構造物などに適用できる高性能セメント系下地調整塗材です。

1. 特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンを採用しているため、各種下地に対する密着性が非常に優れていると共に、耐ひび割れ性、耐衝撃性などの性能が従来に比べて特に優れています。
2. 硬化後強固な被膜を形成し、仕上塗材の防水性を向上させます。
3. 脆弱な下地を均一に強化し、また仕上塗材の色むら、密着不良、造膜不良などの原因を予め防止できます。
4. 特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンとセメントの複合効果でコンクリート躯体の中性化防止、鉄筋の防錆性に優れた効果を発揮します。
5. 特殊アクリルカチオン系樹脂エマルジョンの使用により、下地調整のみならず仲介接着としての機能を発揮します。
6. 施工が簡単で、こて塗りで能率よく作業を行います。

用 途

- ① コンクリート構造物の中性化防止
- ② 露出鉄筋部の補修・防錆下地調整
- ③ 改装面の下地補修・下地調整
- ④ 各種建材の下地調整

荷 姿

ミラクファントKC-2000 粉 体 20kg 袋
ミラクファントKC-2000 混和液 5kg ポリ容器(10~16m²/セット)

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

標準施工仕様

(20℃)

材 料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m)	塗回数	間隔時間(hr)		備 考
				工程内	工程間	
ミラクファントKC-2000 粉 体	100	1.5~2.5	2	6以上	16以上	こて
ミラクファントKC-2000 混和液	25					
清 水	20~30	—				

■ 可使時間：1.5時間 (20℃)

※公共建築工事標準仕様 [新築・改修] につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

性能試験成績表

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 下地調整塗材C-2に準拠した物性結果

項 目	結 果	品 質
軟 度 変 化 %	6.0	-20~20
耐 ひ び 割 れ 性	合 格	ひび割れがない。
耐 衝 撃 性	合 格	ひび割れ及び剥がれがない。
付 着 強 さ	標準養生 N/mm ²	2.3 1.0以上
	低温養生 N/mm ²	1.2 0.7以上
吸 水 量 g	0.2	1.0以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 N/mm ²	【表面状態】合格 【付着強さ】1.3	割れ、膨れ及び剥がれがなく、付着強さは1.0以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断した場合は0.7以上とする。

危険情報と安全対策

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないでください。

各種共通

- [応 急 処 置]
 - 蒸気を吸入した場合は、空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。その後、医師の診断を受けてください。
 - 誤飲した場合は、直ちに医師の診断を受け、無理に吐かせないでください。
 - 眼に入った場合は、清浄な水で十分洗い流し、痛みが残る場合は医師の診断を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合は、付着した衣服等は直ちに脱ぎ、清浄な水で皮膚を洗ってください。炎症や刺激がある場合は医師の診断を受けてください。
 - 漏出した場合は、漏出物を速やかに回収してください。
- [廃 棄]
 - 廃材、容器、養生材、ウエス等は、自分で破棄・焼却せず、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処分を委託してください。
 - 容器に中身を残したまま廃棄したり、火気を当てたりしないでください。
 - 有害物質を含みますので、排水路・下水・河川への排出及び地下浸透をしないでください。
- [保管及び取り扱い]
 - 容器を密封し、凍結・直射日光を避け、5～40℃の乾燥した換気のよい場所、及び部外者や子供が出入りできない場所に一定の管理のできる場所を定め、施錠して保管してください。
 - 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり、危険です（製品の種類によって異なる注意事項は、別途、種類別に記載してありますので、参照してください）。
- [安 全 衛 生]
 - 製品の種類によって異なります。別途、種類別に記載してありますので、参照してください。また、SDS（安全データシート）もご参照ください。
 - 取り扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

溶剤形塗料

溶剤形塗料は特に下記の点にご注意ください。

1. 引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
3. 業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

- [保管及び取り扱い]
 - 保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中・乾燥中ともに熱/火花/裸火/高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。
 - 合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。
 - ご使用の場合、使用機器（電気機器/換気装置/照明機器/工具等）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
 - 消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。
- [安 全 衛 生]
 - ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物の為、火気厳禁です。
 - 揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
 - ① 取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。
 - ② 容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。
 - ③ 取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気やミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防塵マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。
 - ④ 作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
 - 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

硬 化 剤

硬化剤は、特に下記の点にご注意ください。

1. 引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
3. 業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

- [保管及び取り扱い]
 - 保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中・乾燥中ともに熱/火花/裸火/高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。
 - 合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。
 - ご使用の場合、使用機器（電気機器/換気装置/照明機器/工具等）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
 - 消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。
- [安 全 衛 生]
 - ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物の為、火気厳禁です。
 - 揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
 - ① 取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。
 - ② 容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。
 - ③ 取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気ミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。
 - ④ 皮膚に付着した場合は、速やかに大量の水で洗ってください。また、大量の蒸気を吸入した場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
 - ⑤ 作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
 - ⑥ 液がこぼれた場合は、中和剤を散布した後で処理してください。
 - 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

希釈用溶剤

希釈用溶剤は、特に下記の点にご注意ください。

1. 引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
3. 業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

- [保管及び取り扱い]
 - 保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中・乾燥中ともに熱/火花/裸火/高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。
 - 合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。
 - ご使用の場合、使用機器（電気機器/換気装置/照明機器/工具等）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
 - 消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。
- [安 全 衛 生]
 - ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物の為、火気厳禁です。
 - 揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
 - ① 取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。
 - ② 取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気ミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。
 - ③ 容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。
 - 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

水性塗料

- [安 全 衛 生]
 - ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。
 - 水性塗料（荷姿に★印のついていない製品）の取り扱いには以下の注意事項を守ってください。
 - ① 取り扱い場所は換気をしてください。
 - ② 取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気ミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。